

# 第61回東京都十六高校対抗水上競技大会

## —第10回運営委員会—

平成 28 年 1 月 23 日 (土)  
於 都立青山高校  
文責: 鹿熊 亮太

欠席校: 大崎、大森、北園、九段、小山台、筑附、桜修館、成瀬、日比谷、保谷

去る 1 月 23 日 (土) に行われました 10 回運営委員会の議事内容をお知らせ致します。

～議事内容～

～配布資料～

1. 青ポロ研修について.
2. 次年度競技役員・運営委員について
3. 来年度日程について
4. Tシャツについて
5. グッズ作成について
6. 諸連絡

・なし

~~~~~

### 1. 青ポロ研修について

十六校にて主任・副主任を務める場合は競技役員資格（通称：青ポロ）が基本必要となる。  
また、その他の役職の役員でも役員資格があることが望ましい。

- ・ 日程：3/13(日) 於：三輪田学園
- ・ 締切は2/29必着
- ・ 推薦状が必要となる。推薦者は各校顧問の先生にお願いをするように。
- ・ 詳しくは、「東京都水泳協会競技役員講習」で検索。
- ・ または、十六校運営総務gmailまで質問を。

### 2. 次年度競技役員・運営委員について

来年度の競技役員・運営委員についての募集を早めの段階から各校にお願いした。卒業生の人数から、各校への割り振り人数を決めており、その人数を伝えた。

- ・ 運営委員は各校に伝え、人数がどうしても確保できなさそうな場合は連絡をする。

### 3. 来年度日程について

第62回十六校は 8/15(月), 16(火) に行う。

前日準備は8/14(日)に行い、競技役員はこの日も予定を空けるように。

#### 4. Tシャツについて

第8回運営委員会で決まらなかった続きとして、来年度大会で、競技役員向けにTシャツを作成し役員へ配布することについての決議をとった。

- ・ 前回質問があった62回大会の予算について、会計からの報告。59回大会までは役員Tシャツを配布していたが、赤字となった。60回以降は役員Tシャツの作成を辞めた。今年度の61回大会はエントリー代の値上げなどの要因により黒字に転じた。62回大会では、役員Tシャツを配布しても黒字となる見込みとなる。
- ・ Tシャツ作成のメリットについて  
競技役員への謝礼へとなる。（今大会では何ものなし）  
大会の一体感を得られる。
- ・ Tシャツ作成のデメリットについて  
予算のストックへ回せる分が減る（貯蓄が減ることはない）  
→東京オリンピックの時期に辰巳が使えないため、別の会場が必要となる。その時のための予算が必要となる予定である。まだ未定な面が多い。

→決議の結果

賛成：22 反対：5

により、役員Tシャツは作成、配布をする方針で進めていくこととなった。

#### 5. グッズ作成について

来年度は十六校グッズとして、Tシャツ、キャップ、セームを作成する。売れ残りを少なくするために事前に各校に購入案内を送り、購入予約してもらうという制度を提案した。

- ・ 選手が大会当日にまとまったお金をもっていない、忙しいなどの理由があつてグッズを購入することができない、というアンケートの意見があつた。
- ・ 事前に購入個数を把握することで、売れ残りを少なくすることができる。
- ・ 当日の販売もする。

→決議の結果

賛成：22 反対：0

により、次年度は事前予約制度をすることとなった。

- ・ 事前購入の値段を下げることで、購入を促す。
- ・ OB・OG分の事前購入については総務内で議決する。  
←OB・OGに十六校の連絡（応援整理券の購入時など）をするときに共に連絡取れるのでは。

#### 6. 諸連絡

- ・ 次回の第 回運営委員会は**2月20日(土)**開催予定。
- ・ 欠席届・委任状締め切りは**2月18日(木)**とする。
- ・ 会場借用のメールは**2月6日(土)**までに、借用可能・不可能に関わらず連絡をすること。
- ・ **読了確認のメールを送ることを徹底すること。**

以上